

●演習ワークシート

実習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

事例 1

症例：Aさん，38歳，女性

関節リウマチの診断で薬物治療を開始。主治医からは、薬物治療に関して「まずは、最もよく使われているお薬で治療していきましょう」「副作用を防止するお薬も一緒に飲みましょう」「今後、自分で注射できるお薬を追加するかもしれません」と説明を受けている。

演習課題 1

「まずは、最もよく使われているお薬で治療していきましょう」とはどんな薬か記述してください。また、その薬の治療上の注意点も記述してください。

演習課題 2

「副作用を防止するお薬も一緒に飲みましょう」とはどんな薬か記述してください。

演習課題 3

「今後、自分で注射できるお薬を追加するかもしれません」とはどんな薬か記述してください。また、その薬の治療上の注意点も記述してください。

● 演習ワークシート

事例 2

患者：B さん，75 歳，女性

高血圧と糖尿病，過活動膀胱の診断でカルシウム拮抗薬とスルホニル尿素薬，抗コリン薬を内服中。以前は，昼間の排尿は 2 時間弱ごとで，夜間は 2～3 回であったが，抗コリン薬であるベシケア®5mg を 1 日 1 回 1 錠朝食後に内服するようになり，昼間は 3 時間以上，夜間は 1 回程度になっていた。

最近になり，昼間は 3 時間以上で変わりはないが，夜間に 2 回程度トイレに行くようになったため，主治医に相談した。

※必要に応じてインターネット等を利用して，関連する薬物の薬物動態について調べて，合わせて知識の整理を行ってください

演習課題 1

夜間の排尿回数が増えてきたことに関して，チェックすべきことを記述してください。

演習課題 2

薬を変更するとしたら，どのように変更すると効果的か検討し，記述してください。